

一般質問事項一覧

6月12日(月)

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) / 12日 (月)	白 崎 (市政会)	一括質問・答弁方式	<p>1 屋内型子どもの遊び場整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 5月に実施した「大野市屋内型子どもの遊び場整備事業基本計画(案)」のパブリックコメントでどのような意見があり、どのように反映したのか。 ○ 施設の管理運営に関して、指定管理者を選定する予定であるが、どのような基準で選定するのか。また、どのような業種への指定管理を想定しているのか。 ○ 実施設計業務受託者決定と指定管理予定者決定が同時期になっているが、実施設計業務に指定管理予定者はどのように関わる予定なのか。 ○ 指定管理料として積算の根拠となる経費にはどのようなものがあるのか。 ○ 施設の目的から特に冬季の利用が多くなるのではないかとと思われるが、除雪や排雪はどのように対応していく予定なのか。 ○ 基本計画では「施設は料金を支払っていただくことを想定し、自由来館とします。ただし、市民は無料とすることを想定しています」となっているが、市外の方の施設利用は有料という理解でよいのか。また利用料金に関して、他の市町との整合性を図る必要はないのか。 ○ 目的の中に中心市街地の活性化とあるが、周辺施設との連携はどのように図っていくのか。
			<p>2 電気料金の改定に伴う負担増加への対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指定管理者エネルギー価格高騰対策事業補助3,900万円はどのような算出根拠なのか。特に負担額が高い施設はどこか。 ○ 市の公共施設全体でどれくらいの費用増加が見込まれるのか。 ○ 電気・ガス価格高騰緊急対策事業補助1,300万円の見込み件数と特にどのような業種での補助を想定しているのか。 ○ 今後、負担増加への根本的な解決を図るため、市内事業者に対し賃金引き上げを促す事業に取り組めないか。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) ／12日 (月)	梅林 (もえぎ会)	一括質問・答弁方式	<p>1 大野市水循環基本計画と流域治水について</p> <hr/> <p>○ 流域マネジメントの推進 ～水で導く地域の未来～ 「健全な水循環による、住み続けたい結のまちの実現」を基本理念に策定された大野市水循環基本計画では、さらなる水循環の健全化に向けた施策の基本方針の一つに流域マネジメントの推進が掲げられている。 そこで、貯留・涵養機能の維持と向上について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林の水源涵養地域の保全に関して、どのような取り組みをしているのか。 ・ 地下水位の維持の観点からダムの下流の河川の維持流量について、情報共有と共通認識化を進めるとしているが、真名川の河川維持流量の増量に向けてはどのように取り組んでいるのか。 ・ 農業水利施設の長寿命化・老朽化対策の取り組みは。 <p>○ 地下水保全条例改正における進捗(しんちょく)状況と今後のスケジュールを伺う。</p> <p>○ 議案第41号 令和5年度大野市一般会計補正予算の(款)土木費(項)土木管理費(目)土木総務費の道路・河川監視カメラ導入事業1,689万円のうち、河川監視カメラの設置について、その目的、河川名、設置場所を伺う。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) ／ 12日 (月)	野村(無党派)	一問一答方式	<p>1 物価高対策について</p> <p>6月に入り、食品や飲料の値上げに加えて電気料金の値上げ幅も大きく、これからの暑い季節を乗り切るための冷房費の負担が市民に大きくのしかかる。市民のくらしと命を守るためには物価高対策が必要ではないかと考える。そこで、以下の3点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民税非課税世帯への物価高騰くらし応援給付金給付事業の対象にならなかった世帯の物価高による影響をどのように考えるか。 ○ 大学・短大・専門学校に進学した学生は、物価高の中でアルバイトをするなどして厳しい生活を余儀なくされている。また仕送りをする保護者の負担も厳しい状況である。学生保護者への物価高の影響をどのように考えるか。 ○ 子どもから高齢者まで、全市民に物価高対策が必要ではないか。 <p>2 小中学校のトイレに生理用品を配置することについて</p> <p>生理に対する社会的な理解や支援はまだ十分ではなく、貧困により生理用品が買えないといった生理に関する悩みや不安を抱える女子児童・生徒が少なくない。生理用品の設置は女子児童・生徒の学校生活や健康を守るために必要なものである。</p> <p>現在、学校において女子トイレに生理用品の設置がないと聞いているが、トイレへの設置を求めることに関して、以下の3点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生理は女性にとって健康や教育に関わる重要な問題だと思うがどのように考えるか。 ○ 小中学校トイレに生理用品を設置しない理由は何か。 ○ 小中学校トイレに生理用品を設置する考えはないか。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／12日（月）	伊東（市政会）	一問一答方式	<p>1 保育所等における使用済みおむつの処分について</p> <p>保育所等に通う子どもの使用済みおむつは、今まで保護者に持ち帰ってもらうのが通常であった。しかし、ここ数年、保護者の負担軽減を理由に多くの自治体で使用済みおむつの処分を保育所等で行っている。</p> <p>使用済みのおむつの持ち帰りがなくなることは、保護者の負担軽減になるだけでなく、使用済みおむつを子どもごとに振り分ける業務がなくなることで、保育士の負担軽減にもつながる。</p> <p>そこで、以下の2点について質問する。</p> <p>○ 現在、市内の保育所・認定こども園において、使用済みのおむつの処分はどのように行っているのか。また、民間と公立の保育所で違いはあるのか、現状を伺う。</p> <p>○ 令和5年1月に厚生労働省より全国の自治体に対し、使用済みおむつの処分を保育所等で行うことを推奨するとの通達があったが、このような国の方針について、本市としてはどのように考えているのか。</p> <p>2 自治体DXと行政改革の推進について</p> <p>現在、本市では行政のデジタル化を進めており、「書かない窓口」の設置によって、利用者の手続き時間の短縮や市職員の負担軽減に期待が高まっている。今後、さらにデジタル化を推進していくことで、業務の見直しや簡素化、市民の利便性向上が図られ、住民一人一人に寄り添ったきめ細やかなサービスにつながるのではないかと考える。</p> <p>何のためのDXなのか、常に目標を意識しながら、最終的な目指すべき姿、理想とする状態をゴールとして描き、進化・発展し続けることを期待し、以下の2点について質問する。</p> <p>○ 「書かない窓口」の利用状況はどうか。</p> <p>○ 市役所での手続きのうち、簡素なものはまとめて受け付けし、オンライン上で手続きが完了する「ワンストップサービス」など、デジタル技術やデータの活用で、住民へのサービス向上を目指すさまざまな取り組みが全国の自治体で行われているが、今後の自治体DXと行政改革について、本市の見解を伺う。</p>

令和5年6月 第435回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／12日（月）	廣瀬（市政会）	一括質問・答弁方式	<p>1 令和6年の中学校再編に向けて</p> <p>来年4月の中学校再編に向けて、3月議会以降の取り組みについて質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 制服と体操服の選定については、6月中に最終選定を行う予定とのことであったが、現在の状況は。 ○ スクールバスの正式なルートは1学期中には決定したいとのことであったが、現在の状況は。 ○ 補正予算の中で通学区域審議会事務経費が計上されている。この予算についての詳しい説明を。 <p>2 中学校の部活動について</p> <p>中学校の部活動について、3月議会以降の状況について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年度以降の中学校の部活動については「令和5年度の中学1年生からは部活動への参加を任意にする」とのことであったが、今年入学した中学1年生の部活動への参加状況はどうか。また部活動に入らなかった生徒はどのような活動に参加しているのか。 ○ 部活動の地域移行については、令和5年度は文化部についても進めていくとのことであったが、現在の状況は。 ○ いよいよ中体連の夏の大会が始まる。以前は平日開催であったり土日開催であったりとまちまちであったが、部活動の地域移行のこともあるので、大会のときの指導者は部活動の指導者か、それとも地域の指導者か。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／13日（火）	岸本（大野市民の会）	一括質問・答弁方式	<p>1 大野市の防災・減災について</p> <p>本年6月2日から3日にかけて東海地方を中心に各地で台風や前線の影響で、河川の氾濫、土砂崩れが多数発生し、死傷者が出る大規模災害になり、24時間降水量は三重県鳥羽市で490.5ミリとなるなど、23地点で観測史上最も多くなった。</p> <p>国土交通省資料では、時間雨量50ミリを超える短時間強雨や総雨量が数百ミリから千ミリを超えるような大雨が全国各地で毎年のように発生し甚大な被害が出ている。時間雨量50ミリ以上の年間発生回数は、1976年から1985年の10年間の平均回数は226回であるが、2013年から2022の10年間の平均回数は328回と増加傾向（約1.5倍）を示すと報告されている。</p> <p>気候変動の影響により、線状降水帯が多数発生し水害のさらなる頻発・激甚化が懸念されている。本市においても今後、甚大な風水害対策の方向性を明確に示すことが必要だと考え、以下のとおり質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大野市総合防災マップには避難所等一覧が掲載されているが、気候変動により24時間降水量が増加傾向にある中、高齢者が増加している本市での避難所見直しの検討をしないのか。 ○ 6月2日、本市でも5カ所の自主避難所が開設され、防災無線による避難呼び掛けが行われたと思うが、市民、特に高齢者への周知はできているのか。 ○ 大野市避難行動要支援者の避難支援プラン作成には、多くの民生委員やケアマネジャーの方々が、それに該当される方に聞き取り調査を実施されていると伺っている。避難行動要支援者は何人いて、現在登録された方は何人なのか。また登録はいつまでに終了する予定なのか。
			<p>2 文化会館のあり方について</p> <p>大野市文化会館も開館から57年が経過し、耐震上の問題により令和8年には休館もささやかれている。文化会館を利用されている方々にお話をお聞きすると、「文化会館でイベントがあるといつも来ている。子どもたちの演奏などを楽しみにしている」、「財政のこともあるから大きな施設とは言わないが、できる限り早急に建て替えてほしい」、「地元の避難場所でもあるので、新しい文化会館を早く建設してほしい」など、文化会館を必要とする声を多く聞く。</p> <p>文化会館は本市の文化発祥の場所で、必ず一つは必要だと考える。また文化会館は文化芸術の拠点のみならず、地元住民にとっては、甚大な風水害が発生した場合の避難所であり、非常に重要な防災拠点でもある。</p> <p>これらを踏まえ、以下のとおり質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市長の提案理由説明の中で「平成30年度に策定した大野市文化会館整備基本計画どおりに整備を進めていくことは困難であるものと考えています」とあったが、何が困難であるのか。

令和5年6月 第435回大野市議会定例会

一般質問 (第2日) ／ 13日 (火)	岸 本 (大野市民の会)	一括質問・答弁方式	<ul style="list-style-type: none">○ 大野市文化会館整備基本計画は議会も認めた基本計画であるとする。整備を進めていくのは困難とし、市長の判断で変更するのはおかしいと思うが見解は。○ 文化会館は文化芸術の拠点だけではなく、地元住民の防災拠点と位置付けられている。万が一、移転となった場合の地元住民の避難場所はどうなるのか。○ 財政面を考慮し、文化会館の規模縮小や、文化会館に例えば図書館などの施設を取り込むなど、機能を集約することも一つと考えるが見解は。
----------------------------------	--------------------	-----------	---

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) / 13日(火)	木戸屋(もえぎ会)	一括質問・答弁方式	<p>1 小中学校の不登校児童・生徒への対策について</p> <p>令和4年12月大野市議会定例会の一般質問で、令和3年度の本市の小中学校不登校児童・生徒が1,000人当たり20.9人となり、過去5年間で最多になったという教育委員会からの答弁があった。</p> <p>不登校に至る要因はさまざまである。児童・生徒一人一人の状況が全く違い、個々に応じた細かな実態把握と細心の注意を払っての不登校対策が必要である。短期間で支援を集中させることによって改善しなければならない場合もあれば、長い時間をかけてじっくり丁寧に対策を講じていかなければならない場合もある。</p> <p>不登校の解決は非常に困難であり、学校だけが抱えるのではなく、教育委員会との連携や、外部組織や専門機関などからの協力も必要になる。</p> <p>そこで、次の点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本市の令和4年度の不登校児童・生徒数はどのようになっているのか。 ○ 不登校児童・生徒の増加に対して、教育委員会はどのようなことで学校現場を支援しているのか。 ○ 外部組織や専門機関との連携強化について、教育委員会はどのように考えているのか。
			<p>2 住み続けたいまちの具現化に向けて</p> <p>令和5年4月に国立社会保障・人口問題研究所は、2070年の日本の総人口は8,700万人まで減少すると発表した。</p> <p>人口減少は日本全体の大きな課題である。本市も人口減少という大きな課題に取り組む手だてを多岐にわたって講じているが、残念ながらなかなか顕著な効果は得られていないのが現状である。しかし、それらの小さな手だてを地道に実行していかなければ、ますます住み続けたいと思う市民は減少してしまう。</p> <p>この課題は、行政だけに任せるのではなく、市民、事業者も主体的に取り組み、連携を取りながら本市をよりよくする力をさらに高めることが大切である。そのきっかけをつくったり策を講じたりするのは、行政の役目だと考える。</p> <p>そこで、次の点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地域課題解決に向けた取り組み」の各地区の状況はどのようになっているのか。 ○ 令和5年度当初予算の「結の故郷地域が輝く交付金事業」はどのように使われているのか。 ○ 「大野市地域公共交通計画」の令和6年度の策定に向けて、どのような点に重点を置いて策定していくのか。 ○ 高齢者の交通手段については、共助の考えを取り入れる必要があると考えるがどうか。 ○ 近年の空き家施策の利用状況、「空き家バンク」の登録や契約成立の状況はどのようになっているのか。 ○ 近年のU・Iターンの状況はどのようになっているのか。

令和5年6月 第435回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／13日 (火)	高田(市政会)	一問一答方式	<p>1 文化会館について</p> <p>本定例会に提出された令和5年度一般会計補正予算(第2号)案に、教育費の文化会館のあり方検討委員会の開催や調査に1,227万5千円が計上され、市長の提案理由で「昨今の社会情勢や市の財政状況から、平成30年度に策定した大野市文化会館整備基本計画どおりに整備を進めていくことは困難であるものと考え、今後は検討委員会を立ち上げて、これまでの整備方針も一つの案としながら、他の既存施設を活用した整備案も含め、文化会館の新しいあり方について検討を進める」と述べられたことについて、以下のことを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調査の内訳は。 ○ 検討委員会構成メンバーはどのように考えているか。 ○ 平成30年度に策定した基本計画はどう取り扱うのか。 ○ 今後のスケジュールは。 ○ ランニングコストも含め、文化会館のトータルの財政の見通しは。
			<p>2 観光で稼ぐ新組織について</p> <p>5月27日に開かれた(株)平成大野屋の総会において、令和6年3月で解散との意向が示された。また、その後は新組織で運営をしていくとの説明があった。そこで、以下のことについて伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 解散と判断された経緯と理由は。 ○ 新組織はどのようなものか。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／13日 (火)	山崎(清風会)	一括質問・答弁方式	<p>1 JR越前大野駅の現状について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在のJR越前大野駅の現状について、どのように考えているか。 ○ 観光関連においてどのように考えているか。 ○ その町の主要駅にタクシーが少ないことをどのように考えているか。
			<p>2 介護タクシーについて</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢化が進む中、現在の状況は。 ○ 補助制度は、どのようなものがあるのか。